

『教会間の協力～最近の出来事から』

吉田真司

去る 10 月 31 日に日本バプテスト連盟（以下「連盟」）地域協働委員会主催の「新協働（支援）について考える会」（オンライン会議）に参加しました。連盟はひっ迫する財政課題のもと第四次機構改革を行い、2023 年度より新しい機構となって新たな歩みを始めました。この度の会議でも、『連盟』主導でなく、各個教会・地域が主体となる協力伝道へ」という改革のベクトルに沿った理念が提起されています。それは、これまで「連盟」→「各個教会」という一方向の「支援」政策だったものから、「教会」⇔「教会」という双方向による相互「協働」政策への転換です。そしてその政策に「連盟」と「各地方連合」が連帯して協力する、というイメージです。会議では「兼牧」（複数の教会を一人の牧師が担当する）の必要にも言及されるほど、教勢の低下・財政の困窮にて牧師を招聘できない教会（無牧師）が多い実情があります。また併せて献身して神学校で学び卒業する者の著しい減少課題があります。これまで連盟の協力伝道に関して一際意識高く実際に担ってきた当教会です。この教会間「協働（支援）」というテーマに関しても共に考えて参りましょう。

翌 11 月 1 日は座間伝道所の草刈りに出かけました。奉仕部長の旗振りで、当教会から 10 名もの参加者が備えられ、伝道所メンバーと共に良い汗をかきました。主な作業内容は道路側斜面と隣地庭の草刈り、柿の木の剪定と実の収穫でした（その実は先週お分かちできました）。本来は夏期に実施予定だったのですが秋期にずれ込みました。今後も定期的に必要とされる協力だと思しますので、その折は宜しく願います。なお、座間伝道所との関わりは、隔月の礼拝訪問（証し含む）・懇談を続けております。

11 月 3 日は神奈川バプテスト連合のソフトボール大会でした。体調の関係で参加できなかった方々もありましたが、なんとか当教会から一チーム 9 名（小学生から 70 代まで）の体制で参加できました。結果は黒星が三つ。でも、無理せず（?）、怪我無く（筋肉痛あり）、他教会との親睦が深まりました。ただ少々、他教会からの参加者（参加教会数）の減少も気がかりです。ここにも祈りの課題があります。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-2 4-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>